

全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご活用ください

# 共に歩まん

令和3年9月24日発行

第13号

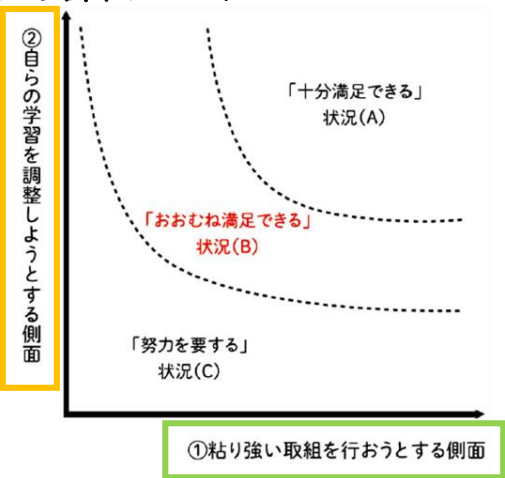
長野県中信教育事務所

シリーズ『指導と評価の一体化』～国語編「主体的に学習に取り組む態度」～

「粘り強い取組」と「学習の調整」の二つの側面から評価します

①「粘り強い取組を行おうとする側面」とは…  
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面のことです。

②「自らの学習を調整しようとする側面」とは…  
①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面のことです。



二つの側面は相互に関わり合っているんだね。



①粘り強い取組を行おうとする側面

(例)「清少納言と自分のものの見方や考え方を比べる」(中学2年)「C読むこと」【3時間扱い】



「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(以下「参考資料」) 中学校 国語 P66～《事例4》より

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準を、「積極的に古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている」と設定したよ。



本単元では、我が国の言語文化に興味をもち、自分に引き寄せて考えることに重点を置いているので、現代語訳や語注などを用いて『枕草子』を読むことを通して、①清少納言のものの見方や考え方を知らうと試行錯誤する過程において、特に粘り強さを発揮させたいです。また、②自分の知識や経験を踏まえて、清少納言と自分のものの見方や考え方を比べて感じたことや考えたことを説明する活動において、自らの学習の進め方を調整できるようにしたいです。



評価規準の状況を評価するものとして、全3時間中の第2時と第3時の振り返りの内容と学習状況の観察を合わせて評価しようと計画したよ。先生は評価の参考とするために、振り返りの項目を指定しているね。一緒にYさんの振り返りを見てみよう。



Yさん

【第2時 振り返り】 前時まで学習したことで本時の学習に役立ったこと。

1時間目の授業を受けて、清少納言のものの見方や考え方をどう捉えればよいのか大体分かっていたので、今日は現代語訳をそういう観点で読んでいった。原文が書いてあったので、今の言葉との違いも見付けながら考えた。

【第3時 振り返り】 本単元で課題を解決するために試行錯誤したこと。

清少納言と自分のものの見方や考え方の特徴を説明するのが難しかったので、共通点と相違点をいくつか書き出したり友達に説明して意見を聞いたりした。

Yさんは授業でも進んで原文を確認して学習を進めており、積極的に学習課題について考えていました。振り返りの記述とあわせて判断すると…



Yさんは、「十分満足できる」状況(A)でしょうか？それとも「おおむね満足できる」状況(B)でしょうか？ 答えは、「参考資料」中学校 国語 P72を見てね！

